

まほろば秦野通信

平成30年9月4日

タイトル	平成30年度 秦野市総合防災訓練を実施しました
When (いつ)	平成30年9月2日(日曜日) 午前9時～正午
Where (どこで)	<p>合同訓練会場：本町地区(メイン会場：本町小学校) ※今年度、初の試みとして、「<u>フェスティバル形式</u>」で実施。 自治会避難場所及び広域避難場所23か所(市内小中学校、カルチャーパーク総合体育館) なお、本町地区の他の広域避難場所の本町中学校では、関係機関駐車場として使用し、末広小学校では、他の地区と同様、地域実践型訓練を実施しました。</p>
Who (だれが)	<p>当日合同訓練会場(本町小学校) 来場者市民：約850人 関係機関等の参加者を含めると、約1,050人</p>
What (なにを)	<p>1 合同訓練会場(本町小学校)での訓練内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開会式 10:10～ 【本町小学校校庭及び体育館】10:10～11:40 「体験コーナー」 (校庭) ・起震車(新和防災) ・煙体験ハウス(予防課) ・非常食体験(災害ボランティアネットワーク) ・ガス器具の取扱い(秦野瓦斯) ・NTT災害伝言ダイヤル「171」(NTT東日本) (体育館) ・間仕切り体験(ボランティア・アーキテツ・ネットワーク) 「展示コーナー」 ・防災用品展示(新和防災) ・ヤフー、モンベル、防災課展示(ヤフー・モンベル・防災課) ・防災アドバイザー展示(防災アドバイザー) ・消防団展示(消防団、消防総務課) ・災害用井戸のマップ、女性の視点からの防災対策展示(なでしこ防災ネット) ・防災用品展示(ヒラボウ) ・湘央建設組合展示(湘央建設組合)

まほろば秦野通信

	<ul style="list-style-type: none"> ・神奈川県展示（神奈川県） ・警察パル展示（秦野警察署） ・自衛隊パル展示（自衛隊） ・特殊車両展示 （自衛隊：ジープ、警察：ウニモグ、消防：消防車両（はしご車、ポンプ車）、東京電力：高所作業車） 「訓練コーナー」 ・応急給水訓練（上下水道局） ・電力復旧訓練（東京電力） ・仮設トイレ設置訓練（環境資源対策課） ・救急救命訓練（警防対策課） ・応急救護訓練（医師会・薬剤師会） ・応急歯科診療訓練（歯科医師会） ・ペットの受入れ訓練（獣医師会） ・救護活動訓練（柔道整復師会） ・ボランティアセンター設置訓練（社会福祉協議会） ・LPG安全取扱い訓練 （神奈川県エルピ-ガス協会北相支部秦野部会） 「関係機関訓練と同時進行訓練」 （校庭中央部で実施） ・10：10～10：20 県トラック協会に物資搬送訓練 ・10：30～10：40 自衛隊、警察による人員搬送訓練 ・11：10～11：20 ドローンによる情報収集訓練 ・11：20～11：40 消防署による模擬家屋からの救出救助訓練 （本町幼稚園：受付及び各コーナーで実施） ・親子防災スタンプラリー（景品：不二家秦野工場協力お菓子） ・閉会式 11：50～ ・炊出し訓練 9：00～ 閉会式終了後炊出し（カレー配布）
<p>How (どのように)</p>	<p>合同訓練会場である本町小学校においては、昨年度まで実施していた自治会テントを設営し、自治会ごとに見てもらう訓練から、起震車、煙体験ハウス等を実際に体験してもらう「<u>体験コーナー</u>」、防災用品、神奈川県、自衛隊、警察（ウニモグ）、消防の車両等の展示を実施する「<u>展示コーナー</u>」、東電（電力復旧車、高所作業車を使用した訓練）、上下水道局、医師会等、社協等による訓練を実施する「<u>訓練コーナー</u>」と来場者が自由に選択して、実際に体験してもらう<u>フェスティバル形式</u>で訓練を実施した。</p>

まほろば秦野通信

	<p>また、<u>県トラック協会による物資搬送訓練</u>（イオンに協力いただいた支援物資を、物資の集積拠点である総合体育館から本町小までトラック協会が搬送）、例年好評である警察及び自衛隊による人員搬送訓練（今年度は、秦野市くず葉台自治会の方8名に協力いただいた。）、ドローンによる情報収集訓練（今年度は、防災課職員2名が操縦を担当）、消防による模擬家屋からの救出訓練（今年度は、ドローンにより模擬家屋（縦：5.4m、横：3.6m、高さ：4m）から要救助者を発見したという設定で実施。）、炊出し訓練（自衛隊の炊具車、本町地区婦人会によるカレー。訓練終了後、来場者に配布。）等を各コーナーでの訓練と同時に実施しました。</p> <p>なお、中学生、高校生及び大学生のボランティアが担当した「親子防災スタンプラリー」（受付で台紙をもらい、各コーナーを体験し、スタンプを全部押してもらったものを受付に持っていくと、不二家に提供いただいたお菓子や防災啓発物品を配布）には、約250名ものお子様に参加いただきました。</p>
<p style="text-align: center;">W h y (なぜ)</p>	<p>都市南部直下型地震を想定した地域実践型訓練において、市民一人一人が地震に対する備え（自助）及びお互いに助け合う自主防災組織づくり（共助）の強化の再確認のために実施しました。</p> <p>また、昨年度の総合防災訓練の際に行ったアンケート結果として、「防災訓練がマンネリ化している。」といった意見が多数あったため、新たな試みとして来場者が、直接見て、実際に体験してもらい、原点に立ち返り、防災に関する普及・啓発を目的として「フェスティバル形式」で実施しました。</p>
<p style="text-align: center;">H o w m u c h (予算)</p>	<p>平成30年度防災訓練費（454万6000円）</p>
<p style="text-align: center;">過去の実績</p>	<p>住民自らが「考えて行動する」地域実践型訓練を自治会連合会と市の共催で平成18年度から実施しています。平成29年度は19,075人の参加がありました。</p>
<p style="text-align: center;">今後の取り組み</p>	<p>今年の防災訓練の状況を踏まえ、より効果の高い訓練になるように検討していきます。</p>
<p style="text-align: center;">問い合わせ</p>	<p>市長公室 防災課防災担当 前田 電話0463（82）9621</p>